



KMU 金沢医科大学氷見市民病院

| 広 | 報 | 誌 |

かけはし

氷見

KAKEHASHI



患者さんと病院と
地域をつなぐ広報誌

TOPICS ●トピックス

令和5年度 第1回 市民公開講座

KANAZAWA MEDICAL UNIVERSITY
HIMI MUNICIPAL HOSPITAL



アジサイ(十三町瀧水郷公園)

CONTENTS ●もくじ

TOPICS	令和5年度第1回市民公開講座	P.01
	14歳の挑戦	P.02
	松木先生の診察室から	P.03
	診療コラム	P.04
	病院★ニュース	P.05
	病院からのお知らせ掲示板	P.06
	まちかど情報	P.07

病院の理念

私たちは「生命の畏敬」を医療活動の原点として
次のような病院を目指します。

- 医療人としての研鑽に励み、患者さん中心の医療を実践します。
- 住民の健康と生命を守る中核病院として、安全で質の高い医療を提供します。
- 地域の医療機関と協力し、地域の医療福祉の向上に貢献します。
- 将来の地域医療の担い手となる有能な医療人を育成します。



令和5年度第1回 市民公開講座

令和5年5月27日(土) 13時30分

5月27日に、氷見市芸術文化館で「令和5年度第1回市民公開講座」を開催しました。今回は、「心臓を守るうー生活習慣に注意していますか？」をメインテーマに、循環器内科の福田昭宏教授と栄養部の若林美希管理栄養士、新保佳代子管理栄養士が、それぞれの専門分野の観点から心臓を守るための生活習慣について講演を行いました。



続いて講演が行われ、はじめに福田教授が「心臓！いたわっていますか？」と題し、心臓の働きを説明した後、心臓に関する病気とその原因、そして心臓をいたわって、病気にならないようにするためには、禁煙・減塩・減量・運動が大切であることを分かりやすく解説し、「できることから始めよう」と呼びかけました。



引き続き、若林管理栄養士と新保管理栄養士が「始めよう！今日からできる減塩の工夫」と題し、「見える塩」と「見えない塩」について説明し、味付けや食べ方を変更する等、減塩のための工夫を分かりやすく解説しました。また、金沢医科大学氷見市民病院では外来や入院中の患者さんに食事や栄養・体調のこと等、小さなことでも相談できる栄養

指導を行っていることを紹介しました。

今年度は、令和6年2月17日に「第2回市民公開講座」の開催を予定しているほか、毎月開講の「糖尿病教室」や8月20日に開催予定の「夏休み親子ふれあい医療フェスティバル」、氷見市広報番組「きときと健康チャンネル」など、さまざまな催しを通じて、市民の皆様に病院を身近に感じてもらい、健康増進に役立てていただけるような取組みを行ってまいりますので、ぜひご利用ください。



栄養指導 行っています！

食事・栄養・体調のこと等何でもご相談下さい。

- ★所要時間は30分程度です
- ★栄養指導はご予約にて承っております

ご希望の方は主治医またはスタッフまでお尋ねください。

令和5年度 14歳の挑戦

令和5年7月3日(月)～7日(金)

「14歳の挑戦」は県内の中学2年生を対象とした職場体験学習事業で、当院では事業開始以来、毎年受け入れを行ってきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、当院での実施は3年ぶりとなりました。

今年度は7月3日から5日間、北部中学校と南部中学校から計10名の生徒が参加しました。期間中は、各部門のスタッフが工夫を凝らしたプログラムで生徒を迎え入れ、各診療部門を見学したり、スタッフの業務について学んだり体験したりしました。

参加した生徒さんの中には、将来医療職に就くことを目標にしている生徒さんや医療職に興味を持つ生徒さんが多く、普段なかなか立ち入る機会のない医療現場に緊張しつつも、スタッフの話や聞いてメモや質問をする等、積極的に取り組む様子が見られました。

病院では、さまざまな職種の人々がそれぞれの専門分野を生かして、患者さんにとって最善の治療を行っているよう1つのチームとなって働いていること、日々進歩する医療に対し、新た



な知識の取得のために勉強を怠らないこと等、実際に現場の仕事に触れ、新たな学びや発見があったようで、毎日の活動日誌を通じてそれぞれが思い思いの感想を寄せてくれました。

5日間という短い時間でしたが、今回の体験が将来の夢や目標に向かって進む上で、有意義な時間となっていれば幸いです。未来への可能性に満ちた皆さんの今後のさらなる飛躍を職員一同祈念しています。



まつき
松木先生の
診察室から

健康管理センター
センター長

松木
MATSUKI
NOBUO
伸夫

みなさん、こんにちは。健康管理センター長の松木伸夫です。

このたび、縁あって7年ぶりに再び健康管理センターで勤務することになりました。

私たちの健康は、一生続く最も大切な財産です。そして、健康な体と心は充実した人生のための基盤となります。当センターは、人間ドックの受診を通じて、みなさんの健康状態を評価し、早期の病気や健康リスクを発見することを目的としています。

それでは、人間ドックで早期発見で



きる疾患について、いくつかご紹介しましょう。

糖尿病や高血圧、脂質異常症などの生活習慣病は、初期段階では症状はほとんど現れません。ただ、放っておくと動脈硬化が進み、心筋梗塞や脳卒中を引き起こす原因となります。そのリスクを早期発見することで、生活習慣の改善によって発症を未然に防ぐことが出来ます。

また、胃がん、乳がん、子宮頸がん、大腸がん、前立腺がんなどは、早期発見であれば治療の成功率が高まります。胃がんを例にとると、早期発見では、50%以上が開腹することなく内視鏡でがんを切除でき、1〜2週間の入院での治療が可能となっています。

人間ドックを受けることで、あらためて自身の健康状態や生活習慣について確認し、健康に対する関心も高まります。年に一度の人間ドックをぜひおすすめします。

当センターでは、日帰りドック、一泊ドック、脳ドック、簡易ドックの4つのコースを提供しており、それぞれのコースにオプション検査を追加することも可能です。

日帰りドックはほぼ半日で終わり、包括的な検査と結果説明を受けることができますし、民宿で美味しい海の幸を味わえる「氷見民宿一泊ドック」も人気があります。脳ドックでは血管の狭窄や動脈瘤などを早期に発見することができます。



松木 伸夫 ★ 略歴

【学歴・職歴】

昭和50年 金沢大学医学部卒業
昭和50年 金沢大学第二外科入局
平成 3年 富山労災病院外科部長・医療局長
平成23年 金沢医科大学氷見市民病院教授・院長補佐
金沢医科大学氷見市民病院健康管理センター長
平成28年 ニツ屋病院消化器部長
令和 5年 金沢医科大学氷見市民病院健康管理センター長

【資格】

日本外科学会専門医・指導医
日本消化器外科学会専門医・指導医
日本医師会認定産業医
人間ドックアドバイザー



また、住民健診(特定健診、がん検診)、企業健診等も行っています。
「健康は人生最大の宝です!」当センターは、みなさんの健康と100歳までの長生きのお役に立てればと思っています。ご予約や詳細については、どうぞお気軽にお問い合わせください。

診療コラム

7月開設 コロナウイルス後遺症外来

総合診療科 神田 享勉

コロナウイルス後遺症(以下、コロナ後遺症)は、きわめて多彩な症状を呈し、しかも重なって起こる場合が少なくありません。たとえば、だるさや気分の落ち込み、思考力の低下など脳神経に関連するものや、呼吸困難、関節痛、胸痛、臭いや味の消失、目や口の乾燥といった各臓器に関連する場合もあります。しかも、確定した治療法がなく、どこに受診するか患者さんも迷っています。

そこで、当院では、多彩な病状を示すコロナ後遺症に悩む患者さんに対応する診療窓口として7月に「コロナウイルス後遺症外来」を開設しました。富山県内の新型コロナウイルス感染者数は2023年5月で24万人となり、10人に1人は3か月以上の症状ありとされることから、後遺症を有する患者さんは富山県内では推定で約2万4,000人、氷見市内では人口から割り出しますと、約4,000人の患者さんがいることとなります。

コロナ後遺症外来の対象は、15歳以上の方で、自宅待機明け2週間以上経過した方、そして発症後1カ月以上経過した方です。総合診療科で毎週金曜日の午前に予約制で診療を行っています。治療方法としては、図のように3つあり、基本生活や薬物など様々な角度からの指導を行います。特有の対症療法が必要な場合は、専門医とも相談して、症状の改善を図ります。世界の統計では、1年経過しても症状が残る人の割合は50%程度とされています。

診療科

総合診療科(完全予約制) ※お電話で予約をお願いします。

診療日

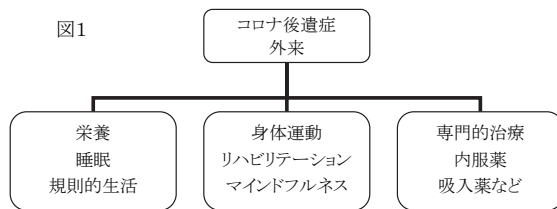
金曜日午前中(9時00分〜11時00分)

予約・問合せ先

内科外来受付 ☎74-1900 内線1100



図1



急性・重症患者看護専門看護師

3階東病棟 堀 栄輔看護師

2022年に急性・重症患者看護専門看護師の資格を取得し、現在は集中治療室と循環器内科、整形外科病棟に勤務しています。

氷見市は全国的な傾向と同様に高齢化が進んでいる地域と言われています。高齢者は免疫力の低下や慢性疾患の存在、心肺機能の低下から病気になることも重症化しやすく、回復が遅れることで、これまで出来ていたことが出来なくなったり、望んでいた生活が送れなくなることが社会問題となっています。重症化した患者さんを速やかに安定した状態とし、回復の手助けをしたい、重症化してしまい辛い思いをしている患者さんに寄り添える看護を提供したいと考え、急性・重症患者看護専門看護師を目指すようになりました。

「専門看護師」とは、あまり聞き慣れない資格ですが、特定の領域において、より深い理解と専門的なスキルを持ち、他の看護師や医療チームの協力を得ながら、より高度な医療ケアを提供する看護師です。資格を取得してからは、医師とカンファレンスを行い、スタッフ教育をしながら、どうすれば患者さんを速やかに回復へと導くことが出来るのか、患者さんが回復を目指す気持ちを保つためにはどのような看護や関わりが必要か、といった課題に向き合い、日々悩みながら従事しています。

これからも、他の医療スタッフと協働し、患者さんの速やかな回復を目指しながら、寄り添える看護を志し従事していきたいと考えています。

第23回富山県公的病院医療安全研究大会

6月24日(土)13時から、「第23回富山県公的病院医療安全研究大会」が砺波市文化会館において、富山県公的病院長協議会の主催、富山県医師会・砺波市・南砺市の後援のもと開催されました。本会は「一般演題」と「特別講演」の2部構成で行われ、今年には県内22病院から計25題の発表があり、一般演題においては、口述発表の他にポスター発表が初めて導入されました。

当院からは、リハビリテーション部の米田真宏作業療法士が「転倒に関する医療安全研修の効果について」と題して、患者さんの転倒を予防するために開催した研修会について、またその後の転倒数の推移について発表を行いました。

特別講演では、公立大学法人宮城大学の平泉拓准教授より「ヒューマンサービスの現場におけるカスタマーハラスメント対策」と題して講演がありました。カスタマーハラスメントの定義や動向、対策について様々な視点より講演されました。また講演資料の「スタッフの対話に対する個人の姿勢」を紹介する中に、「多声性」として十人十色ならぬ「一人十色」という言葉で、1人のなかに様々な思考や感情があることに気づき、それぞれを大切にすることとありました。講演内では職員向けの言葉でしたが、患者さまもひとりひとりが、様々に思い、感じながら療養を行っていることを意識して対話を進めていきたいと感じました。大会は質疑も活発になされ、盛況裡に幕を閉じました。



令和5年度 糖尿病教室

4年ぶりに糖尿病教室を再開しました。6月27日(火)の開催時には、総合診療科 神田享勉教授が講師を務め、「新型コロナウイルスと糖尿病」と題し、講義を行いました。他にも、看護師や管理栄養士など糖尿病に関わるスタッフが講師として糖尿病について分かりやすくお話しし、理学療法士による椅子に座りながらできるリハビリ体操も行いました。教室の再開を待ちわびてくださった患者さんもあり、熱心に講義に耳をかたむけていました。

今後も感染対策を行いながら糖尿病のさまざまな知識を身につけられる教室を開催していきたいと考えております。

今後の日程について

(参加には申込が必要です)

10月24日(火)、

令和6年1月23日(火)、

3月26日(火)

時間 13時00分～14時45分

(受付12時30分)

場所 氷見市民病院 6階

多目的ホール

申込・問合せ

医事課(内線1023)へ

お電話ください。

※感染症対策のため、試食会はいりません。



病院からのお知らせ掲示板

● 整形外科 新任医師着任のご案内



整形外科
やまぐち しゅんや
山口 舜也 医師

7月1日から、整形外科に山口医師が着任しました。
常勤医師4名体制で、今後も患者さんに寄り添った質の高い医療を提供できるよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。

【外来診療担当表】

		月	火	水	木	金	土
午前	1診	佐々本	佐々本	佐々本	山口(初診)	佐々本(初診)	第1～4週 交替 ※第5週休診
	2診	清水(初診)	清水	清水	清水	山口	
	3診	廣村	山口(初診)	廣村(初診)	廣村	廣村	
午後		手術	手術	手術	手術	手術	

● 第9回 夏休み親子ふれあい医療フェスティバル

地域の小中学生の皆さんに、近年の医療の現状を紹介し、医療スタッフとの交流やさまざまな医療体験を通じて、医療に興味を持ってもらうことを目的に開催します。

2019年以降コロナ禍により開催中止としていましたが、今年は4年振りに、感染対策を講じて下記のとおり開催します。ぜひご参加ください。

- 日時 令和5年8月20日(日)
9時00分～12時00分(受付8時30分～)
- 会場 金沢医科大学氷見市民病院
- 対象 小・中学生および保護者(氷見市在住の方)
- 定員 親子合計100名まで
※定員に達し次第、締切り
- 参加費 無料

【問合せ先】 金沢医科大学氷見市民病院 総務課
☎74-1900(内線2042)

メインテーマ

『元気に過ごそう～コロナに負けない身体作り～』

◆09:00～10:00 医療体験コース①②

◆10:00～10:30 医師によるミニ講座

講座①「^{のど}喉の感染について詳しく知ろう」

呼吸器内科 山田 真也 講師

講座②「食う・寝る・遊ぶ(うんち・おしっこ・ユーチューブ)」

小児科 藤木 拓磨 准教授

◆10:30～11:30 医療体験コース③④

● 令和5年度 糖尿病教室 開講のご案内

コロナ禍以来4年ぶりに糖尿病教室を再開しました。
医師をはじめ、看護師や薬剤師など、糖尿病に関わるスタッフが講師として、糖尿病についてわかりやすくお話しします。
糖尿病の基本的知識を身につけ、しくみ、検査、合併症、食事療法、薬物療法、運動療法などについて学ぶ機会として、ぜひ活用ください。

参加ご希望の方はお電話でお申し込みください。

【申込・問合せ先】 医事課 ☎74-1900(内線1023)

8月の開催予定

■日時 令和5年8月22日(火)
午後1時～午後2時45分(受付 午後12時30分～)

■会場 氷見市民病院 6階 多目的ホール

■内容 1. 講義① 皮膚科 西部 明子先生

2. リハビリ体操

3. 講義② 臨床検査技師

4. 看護師からのお話

5. 管理栄養士の献立紹介

※感染症対策のため、試食会は行いません。

次回以降の開催予定

◆令和5年10月24日(火) 午後1時～午後2時45分

◆令和6年 1月23日(火) 午後1時～午後2時45分

◆令和6年 3月26日(火) 午後1時～午後2時45分

● 入院患者さんへの面会について

新型コロナウイルス感染症が5月8日で5類感染症へ移行しましたが、感染力が低下したわけではなく、院内で感染が広がってしまうと、入院患者さんの治療に大きな影響が出てしまいます。

そこで、新型コロナウイルス感染症の院内への持ち込み防止のため、入院患者さんへの面会について制限を設けています。

【面会可能な方】 ・主治医から許可された方 ・病院から依頼された方

【面会可能時間】 月曜～金曜 14時～17時 ※いずれも、緊急時等で病院から依頼をした場合を除く

今後、新型コロナウイルス感染症の感染状況や他医療機関の状況に応じて対応を随時変更していきますので、病院ホームページ等を随時確認いただき、当院が定める基準を遵守いただき、入院患者さんへの感染拡大の防止にご協力よろしくお願いいたします。

病院運営の基本方針

1. 患者さん中心の病院運営を行います。
2. 安全で信頼される医療の提供に最善を尽くします。
3. 患者さん・ご家族への「説明と同意」を徹底します。
4. 高度医療、質の高いチーム医療を推進します。
5. 地域の中核医療機関として地域医療連携・支援を推進します。
6. 良医の育成と医療人の教育・研修を推進します。
7. 働き甲斐のある健全で活力ある病院づくりに努めます。

患者さんの権利

当院は医療の中心は患者さんであると認識し、患者さんには次のような権利があることを宣言します。

- 安全で良質な医療を公平に受けることができます。
- 病気や治療内容について、分かりやすい言葉で説明を受け、ご自分の希望や意見を述べるすることができます。
- ご自分の意思で治療方法や医療機関を選択することができます。
- 診療記録の開示を求めることができます。
- 他の医療機関を受診することを希望されるときは、必要な情報提供を受けることができます。
- プライバシーは尊重され、個人情報に厳重に保護されます。
- 臨床研究に関して十分な説明を受けたうえで、その研究に参加するかどうかご自分の意思で決定できます。また、いつでも参加を取り消すことができます。
- 治療に関する自己決定の参考にしていただくため、セカンドオピニオンを受けることができます。

患者さんへのお願い

当院は、地域の中核病院としての社会的使命を果たすため、様々な医療を提供しています。患者さんには、次のことをご理解いただき適切な医療を行うためご協力くださいますようお願いいたします。

- 健康状態、その他必要なことを可能な限り正確にお話してください。
- 説明を受けてもよく理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
- 治療を受ける場合は、医療スタッフの指示に基づき療養してください。
- 病院のルールを守り、他の患者さんの迷惑にならないようご配慮ください。
- 教育病院として、医師、医学生、看護学生、医療専門職の学生、救急救命士などの臨床実習・研修教育を行っております。厳重な指導のもとに実施していますので、ご理解とご協力をお願いします。

まちかど情報

大相撲夏巡業「氷見場所」 —38年ぶりに開催—

大相撲巡業夏場所が8月27日に氷見市ふれあいスポーツセンターで開催されます。氷見市で開催されるのは1985(昭和60)年以来だそうです。巡業では幕内力士ら50人が参加予定で、富山県出身力士の朝乃山も来る予定です。市内の事業所などにポスターが掲示されていますが、横綱照ノ富士や大関貴景勝、北陸出身力士の遠藤、輝らの勇ましい姿には思わず見入ります。このような姿とは対照的に巡業では初っ切り(相撲の禁じ手を面白おかしく紹介する見世物)もありますので、より楽しめるのではないのでしょうか。暑い日が続きますが、氷見場所が待ち遠しいです。



(C) 公益財団法人日本相撲協会

表紙について

十二町湯水郷公園は、子供たちが小さかった頃に、遊具で遊んだり、散歩したりと、私にとっても親しみのある公園です。それぞれが成長した今では、ときどき、ひとりでぼーっと過ごしたり、のんびり散歩したりと、日常の喧騒から離れ、ひと息つける場所となっています。6月下旬に訪れた際に、アジサイがあちらこちらに咲いており、季節の移り変わりを心地よく感じられるひとときとなりました。

編集後記

この星は、もはや「温暖化」という生ぬるい言葉ではなく「灼熱化」と呼ぶほうが相応しくなり、さまざまな自然災害を引き起こしています。個人ができる自然災害への備え・対策の必要性を強く感じています。

さて、夏になると私たちは「亡くなった人」について深く思います。なぜなら、日本では「祖先の霊を祀るお盆」と「戦没者を慰霊する終戦記念日」という水準が異なる二つの“行事”が真夏に行われるからです。特に、いま享受している平和と繁栄は、先の大戦による戦没者310万人の尊い犠牲の上に築き上げられてきたものです。祖父が戦死していることから、今、自分がこの世に在ることのありがたみを毎年8月中旬の旧盆に意識します。世界では、ロシアによるウクライナ侵攻など紛争が絶えず、私たちの生活にも大きな影を落としています。私たちが平和を考える機会として、今こそ大切にすべき真夏の行事であると改めて思います。

かけし夏号編集委員 事務部 坂田 慎一

■広報誌「かけし氷見」の由来

広報誌が患者さんと病院、地域と病院をつなぐ「かけし」となることを願って命名されました。